

らねばならぬ單に利害得失のみを論議するは歐的運動である、文化運動たるべき労働運動は人間の運動であることが切要である。

爲政者も覺醒めて來た救貧政策より防貧政策が切要であるといふことを力説して來た此機に於て前述の如く社會的對策、國家的對策等幾多のものを數へしが本當に労働者の向上を圖るの第一條件ともいふべきは自覺解放であることを忘れてはならぬ。

歐米の婦人は廿世紀の文明は女子解放の結果はであると言つてゐたではないか、私はいゝたい明治維新の文明は廢藩置縣と平民解放の結果であつたが大正維新の文明は労働者解放の結果であると言つたい、これ程労働者の方は強くなつてはならぬ、行結つた現代を開拓するのは新しい人の新しい創造の力に俟たねばならぬ、文化の行程を進める中心勢力は眞に労働者にありとの概を以つて進まねばならぬ、然して運動はどこまでも人格的運動であつて假しい實に労働運動は新社會の建設的運動である。斯迄の資本家は金力萬能資金

の力は何より強い金の方で何物をも征服するといふ迷信に陥つて居た世の中に入財が牛きであるといふことを忘れてゐたらしい、是と同時に労働者の團結も必要な問題であるが此團結を應用して單に何時でも罷擧の目的のみ供するといふ迷信に陥入つてはならぬ、それ若し解放を要する婦人が婦人の要求の察れられざる場合は何時にても貞操を一切閉鎖すること出て來たら男性の感慨如何なるものがあるか、社會には労働者と資本家との外に多數の消費者が在る兩者の筆議の爲に第三者の迷惑を感ずることは共に兩者の愚かからざる處であらう、労働運動上團結は切要な一義であるが是が運用は常に注意を要する問題である、私は最後に今一言したい人間社會に存在してゐる人は皆等しく人間として幸福の増進を圖りたい、然して人間味を味ふことの僅少であつた労働階級に於て一層其威を強ふものがある、此機に際して勵

沖島哲二郎著

### 私の主張

定價金五拾錢  
郵税金貳錢

本書は著者が最近の講演集である新人の主張躍如たるものあり

沖島哲二郎編輯

### 我等の文化運動

定價金五拾錢  
郵税金貳錢

労働運動漸く熟し來り改造の叫は天下に滿つ新人健闘を見よ

パンレット

發刊豫告

- 一、失業問題と失業防止策
- 二、労働運動の途上と目標
- 三、愚論 百出

(沖島哲二郎) 一月より續刊す  
(沖島哲二郎) 定價各冊金貳拾錢  
(沖島哲二郎) 送料三冊迄金貳錢

### 小 沖島黑風著 枯木立

四六版二百頁  
定價金參拾錢  
郵税金四錢

(新版好評賣行旺盛)

### 沖島黑風著 すてばちの女

全一冊

(近日發行)

發行所 賣捌元

京都市今出川通室町西

努力世界社